

（合唱団の合宿から始まった「笠間の郷を思う会」の地域づくり）

「笠間の郷を思う会」は、平成16年3月に地元の有志12人が宇陀市室生区笠間地区の活性化を目的に発足した。現在の会員は38人となっている。

平成16年に「まつぼっくり少年少女合唱団」（主宰：荒井敦子）が笠間地区で夏の合宿を行ったことをきっかけに本格的な活動が始まった。

同会は、今まで合宿誘致をしたことがなく、初めての挑戦であった。会員が丹精込めて育てた野菜を持ち寄って作った野菜カレーを食べた合唱団の子どもたちは「美味しい!」と言い、また地元のお年寄りからは「孫がやってきたみたいや。またやってな」と言われた。この成功体験が、会を発展させる原動力となった。

現在同会は世代間交流を通じて笠間を元気にすることを目的に、次のようなことを行っている。

■「交流会」などを開催

毎年夏に「まつぼっくり少年少女合唱団」と「どんぐり少年少女合唱団」が、音楽の森ふれあい館で練習、旧笠間小学校で合宿をしている。同会は、夜に行われる二つの合唱団との交流会を主催している。

■松明調進行事の一行に朝食を振舞う

名張市赤目町一ノ井の松明調進行事は750年続く伝統行事で、毎年、伊賀一ノ井松明講の講師をはじめ「春を呼ぶ会」のメンバーなど（約80人）が東大寺二月堂のお水取りに使う松明を届けている。一行は毎年3月12日朝6時に赤目を出発、笠間峠を越え笠間地区を通る。その際、同会では旧笠間小学校で猪汁やおにぎりなどを提供している。

■ロードサポート事業に参加

奈良県のロードサポート事業による美化運動に参加し、村落を通る道路である都祁名張線（上笠間～三本松停車場までの3,900m）の草刈・清掃を年4回行っている。地域の人から「道が広くなっ

たように感じる」「標識がよく見えるようになった」などと喜ばれている。

■「クリスマスコンサート」の開催

異世代交流を目的として、毎年12月に「クリスマスコンサート」を旧笠間小学校体育館で行っており、昨年で5回目の開催となった。

笠間は、過疎が進む奈良県東部の山間にあるが、同会の活動により地域間・世代間交流が活発化しており、今後の動きが期待される。（上田）



沢山の人であふれる「交流会」



朝早く名張から東大寺二月堂へ向かう松明調進行事の一行

（写真提供：笠間の郷を思う会）

これからの主な催し

〔主な行事〕

●1月24日（土）（第4土曜日） 18時点火

若草山焼き お正月の一大イベント

奈良のシンボル・若草山で行われる冬の代表的行事。打ち上げ花火の合図の後、33haの草地に一齐に点火される。炎の勢いで山全体が真っ赤に染まる景色は圧巻。

若草山は標高342m。3つの山が重なっていることから三笠山とも言われている。

当日は、13時30分から若草山ふもとで鹿せんべい飛ばし大会（大きな鹿せんべいを投げる催し）が開催され、16時からコンサートも行われる。

問い合わせ先：奈良県ならの魅力創造課

TEL：0742-27-1515

交通：JR、近鉄奈良駅から、市内循環バスで「大仏殿春日大社前」下車 徒歩15分